

にしおの

一生の思い出に
特別な結婚式を

おっ!



岩瀬文庫の前での記念写真。100人以上の参列者が集まり、広場が人でいっぱい



入り口付近の小道を木や花で飾り付けてバージンロードに

岩瀬文庫

大西政義さんと佑美さん（旧姓鈴木）は、2月19日に岩瀬文庫前広場（鶴城公園内）で結婚式を挙げました。文庫の近所で生まれ、文庫を身近に感じて育った佑美さん「実家に近く、家族にも喜んでもらえる」この場所での結婚式をずっと夢見ていました。「みんなと違うことをしたいし、面白いと思っただ」政義さんも賛成し、実現に向けて準備が始まりました。

思い入れのある場所で結婚式がしたい——市内の意外な場所です。めでたく結婚式を挙げた方たちがい



5月に長男琥太郎くんが誕生。「3人で公園で遊ぶのが楽しみ」

この場所での結婚式が行われるのは初めてのことで「自分たちも家族も友人も、どんな式になるか想像できない。やってみなければ分からない」手探り状態の中、佑美さんは文庫や市の公園管理担当者との話し合いが何度も必要で、少し大変だったそうです。それでも「いろんな人の協力で無事に式を挙げる事ができた」と2人。司会やヘアメイク、写真撮影を親しい友人にお願いし、車の誘導なども協力してもらいました。

前日の雨と打って変わり、当日は澄んだ青空が広がりました。バージンロードの先には、のれんが掛けられた手作りの舞台。指輪の交換や誓いの言葉の宣誓が行われた後、フラダンスや歌が披露され、笑顔いっぱいになりました。家族や友人だけでなく、近所の方やたまたま広場にいた方も一緒に祝いに参加してくれました。「こんなにたくさん集まってくれるとは。想像以上に幸せな式だった」訪れるたびに式の思い出がよみがえり、文庫はこれまで以上に特別な場所になったそうです。

佐久島

岐阜県出身の川島和樹さんと香里さん（旧姓遠藤）は28年3月5日、佐久島で結婚式を挙げました。普段島で式を行うことはありませんが、島の方たちの厚意で、特別に行うことができました。

旅行中に立ち寄って魅了された、その後何度も訪れるようになった佐久島。「自分たちらしく、ゆったりとした結婚式ができる」2人にぴったりなこの場所で式を挙げることに決めました。

当日は快晴に恵まれ、島の雰囲気も最高。潮風を受け、大島と海を背景にイーストハウスを並んで歩むと、友人から祝福の言葉が贈られました。「島の人たちもおめで」と祝ってくれた」と和樹さんゆっくりと時が流れ、温かい雰囲気にも包まれた式になりました。

この夏も佐久島を訪れたという2人。のんびり過ごす島での時間をいつも楽しみにしています。



観光客に人気のアート・イーストハウスがバージンロードに

こだわりの場所で新たな人生の門出を迎えた2組。どうぞ末永くお幸せに。（金原拓矢）



安全・安心なまちは
みんなで作る！

西尾市応急手当普及
ボランティアの会

西尾市応急手当普及ボランティアの会は、平成21年7月に設立しました。当初は自主防災会への訓練の支援として、応急手当の指導を行っていました。AEDが一般的に認知され、市民の皆さんから心肺蘇生法講習の要請が増えると、会員は消防署が行う「応急手当普及員講習」で指導者の資格を取得。心肺蘇生法講習の講師を務めるようになりました。さらに消防署の協力を得て、普通救命講習の講師も務めるようになり、現在、毎月第4日曜日に市消防本部大会議室で普通救命講習を行っています。近年は、心肺蘇生法講習の市民講師として、西尾・鶴城・東部・福地の各中学校で子どもたちを指導しています。

心臓突然死は、元気な子どももスポーツ選手も、誰にでも起こり得ます。救急車を待っている間は助からない、そばにいるあなたしか救えない「命」があります。ぜひ心肺蘇生法の講習を受けてください。あなたの大切な人を守るために…。

関 鈴木 (☎090・7673・9643/須脇町)

このコーナーに登場してくれるサークル・ボランティア団体を募集しています。詳しくは、秘書課広報担当 (☎65・2159) へ。



松井 紀依ちゃん
(西幡豆町)

平成28年1月生まれ
いつもニコニコきいちゃん。元気いっぱい大きくなってね。



伊澤 呼多朗くん
(寺津町)

平成27年3月生まれ
元気マンマン食いしん坊の呼多朗くん☆ だんご三兄弟仲良くてね♪



高須 莉々ちゃん
(矢曾根町)

平成28年5月生まれ
食べるの大好き莉々ちゃん。いっぱい笑って大きくなあれ♪



加藤 瑞樹くん
(今川町)

平成27年9月生まれ
いつも良い返事をしてくれる瑞樹。素直で優しい子に育ってね♡



太田 舜くん
(楠村町)

平成27年3月生まれ
少し泣き虫なかわいい舜。幸せをありがとう。優しい子になってね。



有馬 優朱菜ちゃん
(一色町)

平成28年1月生まれ
笑顔いっぱいの優朱菜。これからも姉妹仲良く健康に成長してね！



繁昌 和花奈ちゃん
(平坂吉山二丁目)

平成27年8月生まれ
歌うのが大好きなわかちゃん。これからもみんなを和ませてね♪



神谷 彩愛ちゃん
(神下町)

平成28年2月生まれ
食欲旺盛な彩愛。これからもたくさん食べて元気に育ってね♡

キ
ツ
ズ
ア
ル
バ
ム

岩瀬文庫コレクション

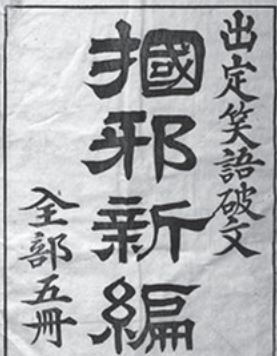
かくじやしんべん
摺邪新編

(114-14) 5冊

岩瀬文庫学芸員 林 知左子

近代より前、日本の書物の印刷方法は1ページごとに1枚の版木を彫って刷る木版印刷(専門用語で「整版」という)が主流でした。しかし、江戸時代後期から明治の初めごろ、多くはないものの活字による印刷も行われていました。もっとも、その活字は現代の私たちが見知っている金属で鑄造したものではなく、木を彫って作られています。こうした木活字で刷られた本は「近世木活版」と称され、数が少ないので珍重されます。まして、それを印刷した木活字が伝存することは極めて稀です。一色町の古刹・和仲山満国寺には、その貴重な木活字が大量に保管されています。第22世の音空上人(1811-71)が私費を投じて作成したものです。学僧として名高い音空上人は、この木活字を用いて仏教に関する自らの著作を出版しました。

慶応4(1868)年刊行の『摺邪新編』もそんな著作の一つで、平田篤胤が著した仏教批判書『出定笑語』に対する反論書です。神道を



同一ページ中に、べったり濃く墨がついた字と、薄くかすれた字が混在しているのがわかりますか? 活字を並べて作るため版面がフラットにならず、墨付きにばらつきが生じるのです。これが木活字版の特徴で、整版との見分け方のポイントです

是とする国学者の立場から仏教を否定する篤胤の論に対し、音空はその誤りを逐一指摘し、厳しく反駁します。さりながら、漢字カナ交りの平易な文章を用い、時にユーモラスな例え話で、また時にはドキリとするほど激烈な言葉で鮮やかに展開する本書は、宗教観のぶつかり合いという緊迫したテーマにも関わらず、不謹慎ながら面白いのです。本書と本書を印刷した木活字は、9月9日(土)から岩瀬文庫で開催の「新発見。新知見。」新編西尾市史中間報告展Ⅱ」に登場します。どうぞ併せてご覧ください。

岩瀬文庫 (☎56・2459)

月刊!! スポーツにしお

Vol.30

幼児期の運動遊びの重要性 今、大人がしなければならぬこと

幼児期の子どもは楽しく夢中になって体を動かすことで、食事をおいしく感じたり、十分な睡眠を取ったりできるようになり、心身の健康状態が維持され、意欲的に取り組む心が養われます。このような望ましい生活習慣は連鎖しており、生涯にわたる健康的で活動的な生活習慣の形成に役立ち、元気に気持ちよく仕事や生活できる基礎になります。

才鑑賞など室内で遊ぶ割合が増え、体を動かす機会が減っています。運動不足は、睡眠不足や欠食・偏食を引き起こします。そのため、心身の健康状態が悪化し、意欲が低下します。この悪循環の連鎖により、子どもたちの体にさまざまな問題が生じています。

その一つに、現在の幼児と、昭和60年の幼児を比較した研究結果があります。現在の年長児の基本的な動きの習得状況は、昭和60年の年少児の状況にとどまっているというものです。文部科学省が策定した「幼児期運動指針」では、3歳〜6歳の子どもに「さまざまな遊びを中心とした運動を毎日、合計60分以上行うこと」を推奨しています。

私たち大人は、このような指針を出さざるを得ない危機的な状況を十分把握し、幼児期の子どもたちには単一のスポーツに偏らず、楽しく多様な動きができる運動遊びを経験させ、元氣な大人に成長するよう育んでいきましょう。



スポーツ施設担当 (☎54・0002/総合体育館内)

参考文献 中村和彦「幼少期における運動遊びの重要性」、『健康づくり』2017年7月号、公益財団法人健康・体力づくり事業財団。

西尾市のデータ

■人口



	8月1日現在	前月比
男性	86,899人	+52人
女性	84,836人	+11人
計	171,735人	+63人
世帯数	63,117世帯	+88世帯

■交通事故の状況



	人身事故 件数	死傷者	
		負傷者	死亡者
7月	59件	66人	1人
29年累計	415件	483人	1人

■犯罪発生状況



	刑法犯総数	侵入盗	特殊詐欺
7月	61件	4件	2件
29年累計 (被害総額)	468件	78件	5件 2,115円

■消防の状況



	火災	救助	救急
7月	4件	2件	635件
29年累計	56件	26件	3,898件

今月の表紙

7月22日に盛大に行われた吉良花火大会。クライマックスを迎え、音楽に合わせて次々に花火が打ち上がる場面を撮影した1枚です。高台の撮影ポイントへは、カメラと三脚を担ぎ徒歩で移動。へとへとになりながらも、目の前に開く華やかな花火に圧倒され、夢中でシャッターを切り続けた約1時間でした。

編集雑記

20ページ「にしのおっ！」コーナーで紹介した、佐久島で結婚式を挙げた川島夫妻。別の取材で島にいた私は、たまたま式を目撃しました。青い空と海、真っ白なイーストハウスにタキシードとウエディングドレス姿の新郎新婦。この美しい光景が忘れられず、いつか記事にしたいと思っていました。電話でのインタビューでしたが、丁寧に式の様子を語ってくれました。島の穏やかな雰囲気と2人の人柄がマッチしてすてきな式になったのだと感じました。(き)

スクールスマイルショット

School Smile Shot

●西尾中学校

7月22日、中央体育館で文化部発表会があり、美術部・家庭科部・科学部の作品展示や、茶道部による冷抹茶サービスが行われました。オーケストラ部はたくさんの観客の前で、映画音楽やクラシック音楽など全11曲を披露しました。



●東部中学校

7月25日に文化会館小ホールで、文化部発表会が行われました。オーケストラ部と地域でボランティア活動などをするTNS部が、日頃の練習や活動の成果を緊張しながらも、一生懸命に披露しました。



●白浜小学校

8月8日、着衣水泳体験が行われました。いつもとは違うプールの感触を楽しみながら、服を着た状態で水中を動いたり、ペットボトルを使って水面に浮いたりする感覚を感じていました。



【西尾市役所】

URL (パソコン) <http://www.city.nishio.aichi.jp/>
(携帯電話) <http://www.city.nishio.aichi.jp/mob/>

E-mail nishio@city.nishio.lg.jp

■本 庁 ☎0563・56・2111 (代表)
〒445-8501 西尾市寄住町下田22

■一色支所 ☎0563・72・7111 (代表)
〒444-0492 西尾市一色町一色東前新田8

■吉良支所 ☎0563・32・1111 (代表)
〒444-0596 西尾市吉良町荻原川畑20

■幡豆支所 ☎0563・62・5511 (代表)
〒444-0798 西尾市西幡豆町仲田14-2



バーコード対応の携帯電話などで読み取ると「モバイル@西尾市役所」が閲覧できます。